

今年で11回目！ 屋上で稲作体験！ 小学生が戸塚区役所の屋上水田で 田植えを行います！



戸塚小学校の5年生（4クラス・140人）が、戸塚区役所8階の屋上水田（地上34m、約50㎡）で、JA横浜や舞岡町の農家等の協力を得て、お米づくりを行います。

屋上水田でのお米づくりは、平成25年の区役所移転から始まり、今年で11回目になります。屋上水田での1年間のお米づくりを通じて、児童の皆さんに農業への理解や地産地消への関心を深めていただきます。

1 田植えの概要

日時：令和6年6月4日（火）9：20～11：30

場所：戸塚区総合庁舎8階 屋上農園内の水田
（戸塚区戸塚町16-17、JR・市営地下鉄戸塚駅徒歩2分）

※天候等により、順延・中止の可能性があります。

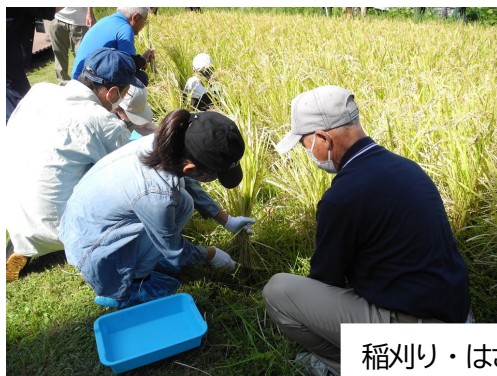
※植え付ける品種は「はるみ」です。



<昨年の田植えの様子>

2 田植え後の活動予定（写真は、昨年行われた稲作体験の様子）

児童たちは、9月に稲刈り、11月に脱穀・精米を体験し、その後、新米を味わう予定です。



稲刈り・はざかけ（9月）



脱穀・精米（11月）



3 取組の効果

児童の皆さんが自ら稲を育てて食べる体験を通して、農業への理解や地産地消に関する関心を深めます。また、JA横浜、舞岡町の農家、児童の保護者、屋上農園内の畑で活動する市民ボランティア等の皆さんの協力を得て行われており、地域の人と人をつなぐ場にもなっています。

この取組を通じて、市街地の屋上水田が、食糧生産だけでなく、環境保全や地域のつながり作りにも貢献しています。

4 屋上農園について



屋上農園には水田のほか、畑、壁面果樹園などがあります。

畑や壁面果樹園では、市民ボランティアが管理活動を行っています。水田の日常管理は南部農政事務所が行っています。

面積等	
水田	約 50 m ²
畑	約 40 m ² (9区画)
壁面果樹園	プランター14基
芝	約 145 m ²

5 屋上水田の特徴

(1) 不耕起栽培

屋上水田は、荷重の関係から耕土の厚さが通常の水田よりも薄く、通常の水田のような耕うん（耕す作業）や代かき（植付前の水田に水を入れ、機械等で土をかくはんする作業）ができません。また、深く掘ると下層の防水シートを傷め漏水の恐れもあります。そこで、不耕起栽培という耕うんや代かきを行わない、もしくは最小限しか行わない方法で栽培します。

(2) 環境にやさしい屋上水田

屋上水田は、昆虫、水生生物など多様な生きもののすみかとなり、良好な生態系、生物多様性の保全の一助となっています。また、植物による被覆や蒸散作用により、温度上昇の抑制やヒートアイランド現象の緩和等にも貢献しています。

<取材について>

- ・田植え当日(6月4日(火))の撮影や小学生のインタビューなどを取材いただけます。
- ・取材いただける時間は、9時20分から10時30分頃までです。
- ・取材をご希望の場合は、6月3日(月)午後5時までに、「お問合せ先」までご連絡ください。



「横浜農場」について・・・

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。



横浜で初めて行う
国際博覧会
2027年3月19日～
9月26日開催

お問合せ先

みどり環境局農政部南部農政事務所長 澤田 悦子 Tel 045-866-8490